

土地の制度の変化

学習日 月 日

点

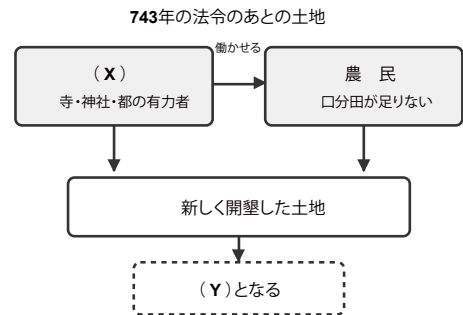
1 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

奈良時代になると、人口が増加したため、農民に分けあたえる（ A ）が不足するようになった。そこで政府は723年、新しく開墾した土地を三代のあいだ私有してよいという法令を出した。しかし開墾は思うように進まず、743年、新しく開墾した土地の永久の私有を認める（ B ）という法令を出した。

- ① 文中のAにあてはまる、戸籍に登録された人々に国からあたえられた田を何というか。 ()
- ② 723年に出された法令を何というか。 ()
- ③ ②の法令では開墾が思うように進まなかった。その理由を、「期間」という言葉を使って簡潔に書きなさい。
()
- ④ 文中のBにあてはまる、743年に出された法令を何というか。 ()
- ⑤ Bの法令が出されたのは何世紀か。 ()

2 右の図は、743年の法令のあと、土地がどのように広がっていったかを表したものである。これを見て、あとの各問いに答えなさい。

- ① 図中のXにあてはまる、開墾を進めて私有地を広げた人々を、次のア～ウから1つ選びなさい。
ア 防人や衛士 イ 国司や郡司 ウ 貴族や寺社
()



- ② 図中のYにあてはまる、Xの人々が広げていった私有地を何というか。 ()
- ③ 図中のXの人々が開墾を進めるために働かせたのはどのような人々か。 ()
- ④ 図中のYのような私有地が広がった結果、くずれることになった土地と人民はすべて国のものとするという原則を漢字4字で何というか。 ()

解答

- 1 ① 口分田 ② 三世一身法
③ 一定の期間がすぎると土地を国に返さなければならず、開墾しても自分のもの
にしておけなかったから。
④ 墾田永年私財法 ⑤ 8世紀

- 2 ① ウ ② 荘園 ③ 農民 ④ 公地公民